

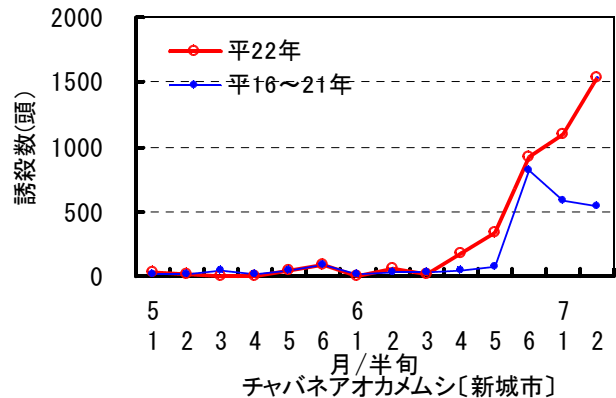
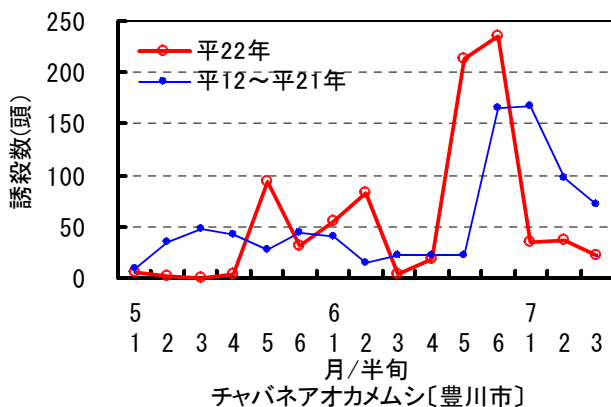
# 果樹カメムシ情報第3号

平成22年7月15日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除グループ

## 7月18日頃梅雨明けか？ 越冬成虫の飛来の急増に注意してください！

### 1 発生状況及び今後の発生予想

- (1) 現在、モモの収穫期ですが、果樹カメムシ類による被害が一部地域で多く見られます。また、ナシの無袋栽培でカメムシによる被害が目立ってきています。
- (2) フェロモントラップによるチャバネアオカメムシの誘殺数は幸田町では7月に入ってから増加しています。7月上旬に豊田市、豊川市では、急減し、山林に近い新城市では急増しています(下図)。これらのことから、チャバネアオカメムシは、スギ・ヒノキ球果を求めて山林に移動していると推測されます。
- (3) 本年は果樹カメムシ類の越冬成虫量が非常に多く、餌となるスギ・ヒノキの球果が非常に少ないことから、いったん山林に移動した果樹カメムシ類の越冬成虫が餌を求めて再び、7月中に果樹園へ大量に飛来する可能性が高いと思われます。
- (4) 平成16年のスギ・ヒノキ球果量は、本年と同程度に少なく、果樹カメムシ類の越冬成虫量も多かったため、7月下旬頃からスギ・ヒノキ林から果樹園へ越冬成虫の飛来が増え、ナシ、カキ、カンキツで被害が発生しました。本年は、平成16年より越冬成虫量が多いことからナシ、カキ、カンキツで被害が多くなると心配されます。
- (5) 週間天気予報によれば、7月18日頃から高気圧に覆われ晴天の日が続くと予想されており、今週末から越冬成虫の果樹園への飛来が心配されます。
- (6) 現在、越冬成虫の飛来は、ブドウ、ナシ、カンキツが中心ですが、今後、カキ園への飛来も多くなってきます。



フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシの誘殺数

### 2 防除対策

- (1) カキでは、早生品種に早く飛来する傾向があるので、これらのほ場では、周辺部における成虫の飛来を確認しましょう。
- (2) カンキツでは7月の幼果の時期に被害を受けることは多くありません。しかし、本年は被害が発生する可能性が高いので、注意しましょう。
- (3) 果樹カメムシ類は局地的に飛来し、集中的に加害する傾向があります。また、園地間差が大きいので、過去にカメムシ類の被害が多かった園では特に注意しましょう。
- (4) 飛来を確認したら、次表を参考に残効の長い合成ピレスロイド剤もしくはネオニコチノイド剤を散布しましょう。

(5) 農薬の散布に当たっては、他の農作物や人畜に害を及ぼさないよう飛散防止に努めましょう。

(6) 農薬はラベル表示事項を守り使用しましょう。

#### カメムシ類に対する主な防除薬剤と使用基準

作物名	薬剤名	系統	希釈倍数	収穫前日数	使用回数
モモ	アドマイヤー水和剤	ネオ	1000倍	収穫3日前まで	2回以内
	MR. ジョーカー水和剤	ピレ	2000倍	収穫前日まで	2回以内
	スタークル/アルバリン 顆粒水溶剤	ネオ	2000倍	収穫前日まで	3回以内
ナシ	MR. ジョーカー水和剤	ピレ	2000倍	収穫14日前まで	2回以内
	アドマイヤー水和剤	ネオ	1000倍	収穫3日前まで	2回以内
	テルスター水和剤	ピレ	1000～2000倍	収穫前日まで	2回以内
	ダントツ水溶剤	ネオ	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内
	スタークル/アルバリン 顆粒水溶剤	ネオ	2000倍	収穫前日まで	3回以内
	スカウトフロアブル	ピレ	1500倍	収穫前日まで	5回以内
ブドウ	スタークル/アルバリン 顆粒水溶剤	ネオ	2000倍	収穫7日前まで	2回以内
カキ	テルスター水和剤	ピレ	1000～2000倍	収穫14日前まで	2回以内
	MR. ジョーカー水和剤	ピレ	2000倍	収穫14日前まで	2回以内
	ダントツ水溶剤	ネオ	2000～4000倍	収穫7日前まで	3回以内
	アドマイヤー水和剤	ネオ	1000倍	収穫7日前まで	3回以内
	スカウトフロアブル	ピレ	1500倍	収穫7日前まで	5回以内
	スタークル/アルバリン 顆粒水溶剤	ネオ	2000倍	収穫前日まで	3回以内
カンキツ	MR. ジョーカー水和剤	ピレ	2000倍	収穫14日前まで	2回以内
	モスピラン水溶剤	ネオ	2000～4000倍	収穫14日前まで	3回以内
	ダントツ水溶剤	ネオ	2000～4000倍	収穫7日前まで	3回以内
	アグロスリン水和剤	ピレ	2000倍	収穫7日前まで	5回以内
	テルスター水和剤	ピレ	1000～2000倍	収穫前日まで	3回以内

注) 系統の「ネオ」はネオニコチノイド剤、「ピレ」は合成ピレスロイド剤であることを示す。

### 3 連絡先

農業総合試験場環境基盤研究部病虫害防除グループ

電話: 0561-62-0085 (内線471)